

第2期中期経営五ヶ年計画のための事業評価シート

継続事業 8-2

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

＜計画年度:令和4年度～令和8年度＞

事業名	生産振興等事業	定款条項	第4条第1項第2号事業【重種馬の生産振興及び流通促進に関すること】	評価年月	令和3年10月
-----	---------	------	-----------------------------------	------	---------

事業運営方針	○北海道遺産にも登録されている重種馬の生産振興及び改良と増殖推進、並びに馬文化の継承を図るための事業を行う。				
本計画の目標	1	北海道、東北地区における祭典ばんば大会奨励	3	(公社)日本馬事協会が馬の改良と増殖推進を目的とし、ばんえい競走経歴馬を種雄馬並びに繁殖種雌馬として購買するため、その業務に協力	
	2	北海道内における馬の共進会、品評会等開催へ協賛、支援			
具体的な取組み	1	祭典ばんば、共進会等支援事業(北海道、東北地方の各市町村における祭典ばんば大会へ賞状及び商品券又はトロフィーの提供)	2	(公社)日本馬事協会と、馬の売却を希望する馬主や調教師との間の連絡調整を図るなど種雄馬、種雌馬の選定や購買が円滑に進むよう側面的な協力、支援	

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース)

(単位:千円)

区分	年度	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
経常収益		844	910	1,435	2,204	1,260
内訳	馬事協会協力金	200	400	400	400	200
	種雄馬負担金	644	510	1,035	1,400	1,020
	種雌馬負担金	0	0	0	404	40
経常費用		3,832	4,451	5,274	5,395	5,000
内訳	生産振興等事業費	873	949	1,185	1,265	1,100
	事業管理費	2,959	3,502	4,089	4,130	3,900
当期経常増減額		△2,988	△3,541	△3,839	△3,191	△3,740
経常外費用		0	0	0	0	0
他会計振替額		2,988	3,541	3,839	3,191	3,740

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①祭典ばんば、共進会等は数も規模も減少傾向。 ②地方競馬全体の発売増収の影響もあり、種雄馬購買頭数は、例年、1頭から3頭が、令和2年度には4頭に。また、種雌馬購買は令和元年度から新たに始まった事業で、元年度7頭、2年度12頭と購買頭数が増えている。	【課題】 ①種馬(雄、雌)購買事業への協力については、競走馬の価格高騰などの影響で、日本馬事協会の購買価格も年々高額となってきている事から、ここ数年売却希望馬の頭数も増加傾向にあるものの、今後更に価格高騰が加熱していけば、オープンクラス等の優秀な成績を取った馬が購買出来なくなる可能性がある。
---	---

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

【方向性】 ①全道各地で実施されている祭典ばんば、草ばんば大会や馬共進会、品評会、展示会に対する協賛、支援を継続して行く。 ②(公社)日本馬事協会が実施する種馬(雄、雌)購買事業について、購買価格の高騰傾向は数年は続く。	【見直し改善(案)】 ①大会や共進会の規模に応じて、副賞等の見直しを検討する。 ②日本馬事協会が種雄馬、種雌馬として購買する頭数は、価格が高騰しても現行を維持するよう、事業予算の増額について要請する。【日本馬事協会】
--	--

◎評価基準

A	現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B	現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	◎
C	現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	◎
D	現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	○
E	現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F	現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	△
G	この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	○

【総合評価・意見等】

種馬(雄、雌)購買事業への協力については、購買を円滑に推進するため関係者との連絡調整を緊密に図り、一頭でも多く競走馬を種馬として購買していただけるよう、購買予算額の増額も含め日本馬事協会に要請する。また、祭典ばんばへの支援については、これまで同様、賞状及びトロフィーを提供することで、当面の間継続していく。

判定

C